



# 花王 ビジネス コンダクト ガイドライン

花王企業行動規範  
2019年4月 改定版

kaō

# 目次

花王グループの皆さんへ	1
花王 ビジネス コンダクト ガイドラインの位置づけ	2
花王 ビジネス コンダクト ガイドライン	
基本精神	6
本文	
01 安全かつ高品質の商品・サービスを開発・提供し、 社会的課題の解決を図る	8
02 環境と安全に十分配慮する	11
03 すべての取引を公正・誠実・適正に行う	13
04 企業活動全体を通じて人権を尊重する	16
05 社員の多様性を尊重し、個の力を最大限に活かす	18
06 企業情報を積極的、効果的、かつ公正に開示し、 ステークホルダーとの建設的な対話を行い、 企業価値の向上を図る	20
07 社会貢献活動をとおして豊かな社会の実現に貢献する	22
08 自然災害、サイバー攻撃、テロ、反社会的勢力等の リスクに備え、組織的な危機管理を徹底する	24
09 経営者・管理者は花王 ビジネス コンダクト ガイドラインを 自ら遵守し社員の模範となるとともに、 メンバーへの周知徹底の責務を全うする	26
花王が支持を表明している憲章・指針等	28
参照社内規程等	29

## 花王グループの皆さんへ

私たちは、花王ウェイを全世界の花王グループの全部門、全員で共有し、日々の仕事の道しるべとして、また企業と社会の持続的な発展を実現させるための基本として活用・実践しています。花王 ビジネス コンダクト ガイドラインは、花王ウェイを実践するための企業行動規範と位置づけられています。

2021年1月、花王は中期経営計画「K25」をスタートしました。「きれいを ところに 未来に」をコンセプトに、持続的社会に欠かせない会社を目指します。そのためには、私たちひとりひとりが花王の経営に携わる意識、社員が一丸となって臨む覚悟が大切です。良い成果には皆で喜び、失敗には皆で悔しがり奮起する、そして絶対にあきらめない。そんな花王なら、多くのパートナーと一緒に仕事をしたくなって声をかけてくれるはずです。花王 ビジネス コンダクト ガイドラインは、その精神基盤を規範として支えるものです。

花王は、倫理に優れた会社として国内外で高く評価されています。これは、私たちが毎日襟を正して活動を行ってきた成果ですので、大いに誇りにして良いと思います。この正道を歩む姿勢は、今や花王最大の特長であり、お手本とされるケースも増え続けています。そして今、私たちは混沌とした社会に直面しています。何のために仕事をしているのか、何を大切にすべきかを、原点に立ち戻って考える時です。楽しんでのぐ道もあるかもしれませんが、花王はこんな時だからこそ、茨の道、未来のための正しい道を行きたいと思います。

花王の歴史の中で脈々と受け継がれてきた「天祐は常に道を正して待つべし」という精神を今こそ胸に刻んで、真摯に仕事に取り組んでいきましょう。

2021年1月

花王株式会社  
代表取締役 社長執行役員



長谷部 佳宏

花王株式会社  
常務執行役員  
コンプライアンス委員会 委員長



田中 悟

# 花王 ビジネス コンダクト ガイドラインの位置づけ

---

## 位置づけ

花王 ビジネス コンダクト ガイドラインは、全世界の花王グループで働く役員・社員一人ひとりが花王ウェイを実践するための行動規範を具体的に示したものです。このガイドラインで花王グループ会社とは、花王株式会社、同社が直接または間接に発行済議決権付株式または持分の過半数を保有する会社、および花王株式会社との協議に基づき、このガイドラインを企業行動規範とすることを決定した会社を言います。以降、花王グループ会社全体を表す場合は「花王」、個々の花王グループ会社を表す場合は「会社」と表記します。

このガイドラインについては、取引先にも理解と共感を得て取り組んでいただくよう積極的に働きかけていきます。

## 判断に迷った時にはどうすればよいでしょうか？

まずはこのガイドラインに立ち返ってください。このガイドラインに反した行為をしていないか、法律等や社内規程に沿っているかなどについて確認してください。これらの確認や相談は、最初に上司にしてください。それでも解決しない場合には、コンプライアンス通報・相談窓口へ相談することをご検討ください。

ビジネスを行う中で判断に迷った場合は以下を考えてみてください。

- 法律、花王ウェイ、BCG、社内ルールに則していますか？
- 誰に対しても正しいことだと説明できますか？
- 家族が同じようなことをされても平気ですか？

## 通報・相談窓口

### 【花王 コンプライアンス ホットライン】

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号  
花王株式会社 法務部門 コンプライアンス推進部

✉ compliance@kao.com

### 【花王 弁護士 ホットライン】

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目7番12号 巖松堂ビル9階  
弁護士 遠藤 輝好

☎ 03-3518-9951

✉ kaobh@eklo.jp

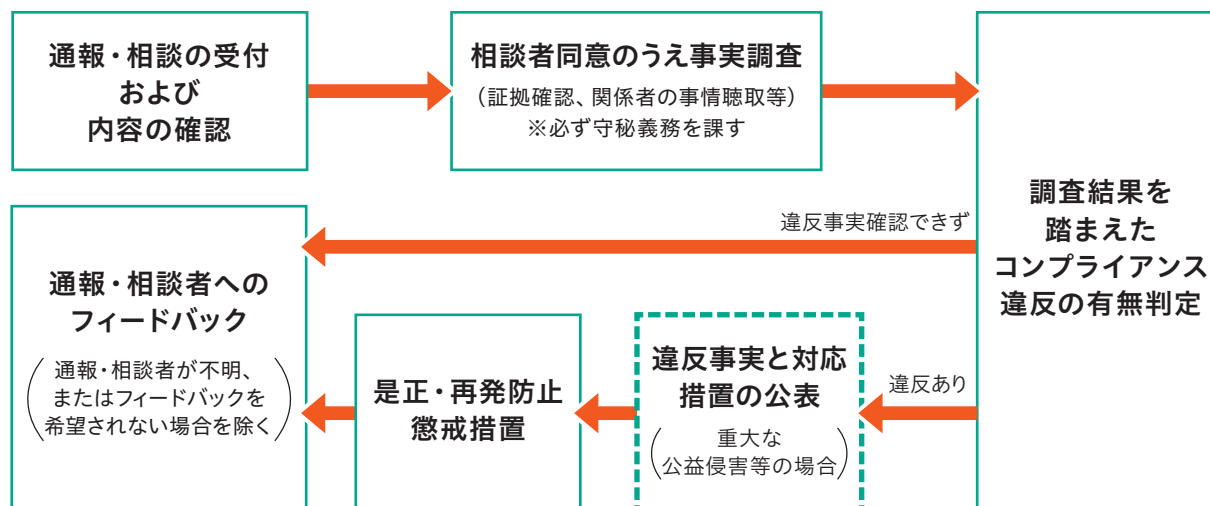
電話の受付時間：(月～金) 10:00～17:30 (祝日を除く)

※担当者が不在の場合があります。

### 通報・相談にあたっての注意事項

電話の場合、「花王 弁護士 ホットラインの通報・相談である」旨伝えてください。  
また、Eメールの場合はその旨標記ください。

## コンプライアンス通報・相談窓口の対応の流れ



会社は通報・相談者のプライバシーを守り、保護します。  
詳細は、6ページの「基本精神の6」をご確認ください。

### 〈 利用時の注意事項 〉

実名・匿名のいずれでも受け付けます。

# 花王 ビジネス コンダクト ガイドライン

## 基本精神

1. 花王ウェイの基本となる価値観である「正道を歩む」を貫くことにより、花王グループが誠実で清潔な「徳のある企業」として、すべてのステークホルダーから支持されることを目指します。
2. 花王 ビジネス コンダクト ガイドラインを遵守し、これに反してまで利益を追求することはありません。
3. 法律等の許す範囲でも最も清廉な行動をとります。
4. 「会社の利益のため」や「上司の指示による」といった理由であっても、法律等、花王 ビジネス コンダクト ガイドラインおよび倫理に反する行為を行わず、また会社はこれを行うことを許容しません。これらに違反した場合、就業規程に基づく懲戒処分や労働契約の解除の対象となることがあります。
5. 法律等、花王 ビジネス コンダクト ガイドラインおよび倫理に反する行為や、疑わしい行為を知ったら、見て見ぬ振りや無視をせずに、その妥当性、適正性の確認、必要な是正措置のために、直ちに、上司または所管部門に相談します。もし相談できない等の事情がある場合には、コンプライアンス通報・相談窓口へ通報・相談します。
6. 会社は通報・相談者のプライバシーを守り、保護します。不正の目的で行われた通報を除き、通報・相談を行ったことを理由として、通報・相談者が不利益を受けることはありません。また、会社は通報・相談者や通報・相談に係る事実確認等のために調査を受けた者を探し出す行為のほか、通報・相談を妨げるための脅しや、通報・相談を行ったことに対する報復行為、その他通報・相談に対する調査への妨害行為等を許容しません。



創業者 長瀬富郎



# 花王 ビジネス コンダクト ガイドライン

---

## 本文

01～09の9つの項目から成り立っています。

01

安全かつ高品質の  
商品・サービスを開発・提供し、  
社会的課題の解決を図る



## 1. 常に安全性を第一として、 社会に有用で品質の高い商品・サービスを開発・提供し、 持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図ります。

- 私たちは、品質保証活動基本方針を定め、消費者・顧客の満足を実現するとともに、社会のサステナビリティ（持続可能性）に資する商品とブランドを提供する「よきモノづくり」に基づく全員参加による品質保証活動をおして商品・サービスの品質と安全性・信頼性を高めていきます。
- 人への安全性を最優先に徹底的な安全性評価、品質テストと品質管理を実行します。また、常に消費者・顧客・販売店、メディア、学会、文献・研究報告、行政、業界団体などから、広く商品・原料の安全性・品質に関する情報の収集、確認、必要な措置の実施を継続的に行い安全性の確保、品質向上に努めます。
- 商品の開発、生産、流通、使用、保管、廃棄のすべての段階における人への安全性が確保されるよう、その時における最高水準の技術と知識を適用するように努めます。また、各段階での安全性が会社の定める基準を達成していると確認されるまで、商品は市場に出しません。
- 確かな品質の商品をお届けするために、原材料の選定から品質確認、製造工程での品質管理と検査、物流にいたるまで、定めた基準に則り確実に実行するとともに、品質管理の継続的な改善を図ります。
- 消費者・顧客のニーズの多様化や国際化の進展に対応し、世界の消費者・顧客満足度の向上に努力します。
- 国際ルールとともに、各国・各地域の文化を尊重しつつ、経済と文化の発展に貢献すべく、グローバルで、かつ、ローカルな視点で事業活動を展開します。また、各国・各地域の国民・住民感情にも配慮するよう努めます。
- 社会的に有用で高品質の商品・サービスを適正価格で提供するため、商品開発5原則——社会的有用性、創造性、パフォーマンス・バイ・コスト（バリュー・バイ・コスト）、調査徹底、流通適合性（流通過程で、商品に関する情報が的確に届けられるか）——を常に指針とし、これを実行し、コスト低減にも努力します。また、誰でも使いやすく、環境にも配慮したユニバーサルデザインの視点を重視します。



## 2. 知的財産を、外部との連携も含め積極的に活用します。

- 私たちは、知的財産を自社の商品・サービスの開発・提供だけでなく、オープンイノベーション等外部と連携することにより社会の課題解決や発展の寄与に積極的に活用します。



### 3. 商品が正しく選択され、安全に快適に安心して使用していただけるよう、適切な情報提供に努めます。

- 私たちは、消費者・顧客の視点で特徴や使い方など商品に関する説明を適切に表示します。
- 商品の誤使用や不適切な使用の結果、消費者・顧客に商品の性格上、重篤な事故や損害が発生することが合理的に予測される場合には、その結果生じる可能性のある被害の内容についての警告と、その回避策および応急処置方法を適切に表示します。
- 他の商品や化学物質などと混合することで急激な化学変化を起こす可能性のある商品では、「まぜるな危険」などのような注意・警告表示および適切な取扱方法等の安全性に関わる情報を消費者・顧客に正確かつタイムリーに提供します。
- 商品表示が消費者・顧客に誤解を与えたり、不適切であると判明した場合には、すみやかに表示を改善します。
- 商品に関して事故が発生するおそれが生じまたは発生した場合には、すみやかに事故の未然防止、原因の究明と再発防止のための適切な措置をとるとともに、正確で迅速な情報提供に努めます。



### 4. 広告宣伝は事実に基づき、良識をもって行います。

- 私たちは、広告宣伝については、関連する法令違反や他者の権利侵害等をしないように、事前に十分な確認を行います。
- 常に事実に基づいた公正な内容と適切な表現に努め、消費者・顧客が容易に、確実に理解できるように、商品の特徴を創造的な表現で消費者・顧客にわかりやすく説明し誤解を与えないように努めます。
- 商品・サービスの訴求点について公正な根拠をもって行い、他社や他社商品を誹謗・中傷せず、また、社会的差別につながるような表現を行いません。
- 放送番組、雑誌記事、インターネットサイトおよびソーシャルメディア等が、公序良俗に反し、または社会に悪影響を与えるおそれが予見できる場合には、それらの広告宣伝媒体を選択しないように努めます。また、提供する番組等で、そのような問題が生じた場合には、その改善を求めます。その際、広告宣伝媒体者が有する編集権を尊重し、不当な介入は行いません。
- 「Kao」のロゴ等については、花王のロゴマーク・社名表示規程に従い使用します。ブランド名を使用する場合には、その使用について法律や社内基準等を遵守します。

### 5. 消費者・顧客からの問い合わせやご意見には、誠実かつすみやかに対応し、その声を商品・サービスの改良や開発に反映します。

- 私たちは、消費者・顧客のご意見を消費者・顧客の立場に立って受け止め、会社の責任に応じた適切な解決に努めます。
- 商品の満足度だけでなく、消費者・顧客の問い合わせについても満足いただけるよう、正確・迅速でいねいな対応に努めます。



# 02

## 環境と安全に十分配慮する



## 1. 商品の開発、原材料調達、生産、物流、販売、使用、廃棄、再生までの事業の全段階において、環境の保全、保安防災、労働安全に十分配慮し、社会のサステナビリティ（持続可能性）に貢献します。

- 私たちは、環境と安全への取り組みが、人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必要な不可欠であることを認識し、環境・安全の基本理念と基本方針、SAICM (Strategic Approach to International Chemicals Management) 推進の基本方針、生物多様性保全の基本方針並びに調達基本方針に則った活動に努めます。
- 環境に対しては、中長期の施策である環境宣言を推進します。
- 化学産業界の環境・安全・健康に関する自主管理活動「レスポンシブル・ケア(RC)活動」の考え方に則った活動を推進します。具体的な活動は、花王レスポンシブル・ケア方針に従って取り組み、より有効なものにしていくよう努めます。
- 消費者・顧客や取引先を含めた様々なステークホルダーと連携した環境活動を広く行っていきます。
- 安全第一の意識のもと、リスクアセスメントや安全活動をととして安全な職場作りを目指します。また、交通事故や保安事故の撲滅に努めます。



## 2. 環境に少しでも負荷を与えない商品や技術を開発し、資源やエネルギーの効率的利用と再資源化を図ります。

- 私たちは、地球環境保護、資源保護などを積極的に推進します。
- 環境監査、環境会計を導入し効果を測定、担保するとともに、ライフサイクルアセスメント(LCA)等の環境評価軸を設けます。
- 廃棄物等の排出の少ない製造プロセスの開発に努めます。廃棄物を処理する場合には、最も環境負荷が小さい方法を選択し、関連する法律等を遵守して最終処分まで責任を持って行います。
- 輸送の効率化、共同化などをはじめ、環境負荷の小さい物流システムの構築に努めます。



## 3. 環境問題の解決に資する革新的な技術、商品・サービスの開発に努めます。

- 私たちは、地球温暖化防止のため二酸化炭素など温室効果ガスの削減に努めます。また、地球資源の保護のため節水に努めます。
- 紙やプラスチックなど各種再生材や自然循環可能材の開発、有効利用を進めるとともに、リデュース、リユース、リサイクルによる廃棄物の削減に努めます。



# 03

## すべての取引を公正・誠実・適正に行う



## 1. 各国・各地域の独占禁止法をはじめとする競争に関連する法律等や、輸出入取引に関連する法律等を遵守した取引、事業活動を遂行します。

- 私たちは、公正かつ自由な競争を通じて消費者・顧客や社会の信頼を獲得するために、同業他社等とのカルテル行為、不当表示その他公正かつ自由な競争を不当に制限する行為を行いません。
- 商品、技術、役務等の輸出入取引については、外国為替及び外国貿易法その他国内外の関係法令による規制を遵守し、必要に応じて許可、届出、報告を行って決裁するなど、所定の手続きに従って適正に実施します。

## 2. 不公正・不誠実な取引を防止するために、適正な取引方針に沿って責任ある調達・供給を行います。

- 私たちは、原材料・間接材や各種サービスの調達においては、品質・価格・納品に加え、調達基本方針、お取引先とのESG推進活動、ハイリスクサプライチェーンからの調達および間接材購入ガイドラインに則り、持続可能な調達や人権保護、鉱物規制の観点から最適調達の徹底を図ります。
- 見積もり、発注、納品確認、支払いまでの一連の購入業務については、関連する社内規程に従い適切に行います。調達先の選定は商品・サービスの質と価格について相見積もりをとるなど、合理的な判断を行います。
- 公平な取引の機会の提供、競争条件と取引条件の定期的な見直しを行い、商談には複数人で臨むなどして公正で透明な関係の維持に努めます。



## 3. 調達・供給に関するサプライチェーンの把握に努め、真摯に評価し合い、互いのレベルアップに努めます。

- 私たちは、取引先の再委託・下請先を含む協力会社・サプライヤー等取引先の把握を行い、適正な企業行動の徹底を図るよう努め、取引の対象である商品・サービスの質、価格や相互の行動などについて真摯に評価し合います。
- 社会的責任および環境に対する配慮項目を示したお取引先に求めるパートナーシップ要件および花王人権方針を調達先に対して提示して協力を求め、第三者の仕組みを通じた客観的なモニタリングを行い、透明性に配慮した形で実行を支援し、その状況を定期的に検証します。





#### 4. 花王贈収賄防止ガイドラインに基づき、違法なあるいは不適切な接待・贈答やリベート、コミッション等の授受を行わないなど、贈収賄<sup>\*</sup>に対して確固たる姿勢で臨みます。

- 私たちは、接待や贈答を適法かつ社会的常識の範囲内とし、贈収賄防止または接待・贈答に関する社内のルールに従い、必要な内部承認手続きを事前に行うとともに適切な報告をします。
- 所定の公的手続きを早めるために公務員に支払う少額の支払いである「円滑化のための支払い」を行いません。

※「贈収賄」とは、公務員や民間企業等相手先の属性を問わず、不適切な業務上または個人的な恩恵を得る目的で、または恩恵の効果を与えるものとして、価値のあるものを直接または代理人等、第三者を通じて相手先に提供する行為または相手先より受領する行為とします。贈収賄には現金の授受、接待、贈答、事業その他の優遇が含まれる可能性があります。



#### 5. 公私のけじめをつけ、会社との利害の対立は回避するよう努めます。

- 私たちは、会社と役員・社員の間で利害の対立が生じるおそれがある場合には、花王利害の対立の回避に関するガイドラインに基づき、必要に応じて会社の許可を取得または届け出るなどの適切な措置を講じて、利害の対立を回避するよう努めます。

#### 6. 政治・行政とはクリーンで健全な関係を保ちます。

- 私たちは、個人の政治的信条を除き、会社として特定の政党や政治家に対する寄付（政治献金）および便益の提供等の支援は行いません。
- 政治・行政とは対等で健全な関係を保ち、もたれ合いや癒着と受け取られるような行動はとりません。業務上関係を有する公務員等とは疑惑や不信を持たれない透明性の高い関係を保ち、必要な場合には積極的な意見表明を行います。



# 04

## 企業活動全体を通じて人権を尊重する



## 1. 人権を理解・尊重し、花王人権方針を遵守します。

- 私たちは、花王人権方針を遵守し、すべての人が生まれながらにして持つ基本的権利である人権を尊重する責任を果たすよう努力します。

## 2. 社員をはじめとする業務従事者に対して、人権・人格を損なう、または侮蔑するような言動を含む一切のハラスメント行為を行いません。

## 3. 児童労働、人身売買や強制労働を許容しません。

# 05

## 社員の多様性を尊重し、 個の力を最大限に活かす



## 1. ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(DE&I)方針に則り、社員の多様性を尊重し、一人ひとりの多様な能力・個性・価値観を受容・結集して、花王グループの総合力を高めます。

- 私たちは、一人ひとりの尊厳と価値を尊重し合い、互いに仕事の場でともに働く仲間として対等な関係を築きます。
- 自由闊達な組織風土の形成に努め、意見の提案や苦情の申し立てを自由にできる雰囲気と環境を作ります。
- 業務遂行能力と実績に応じた雇用、人財配置を行う施策を推進し、文化、国籍、宗教、信条、人種、民族、性別、性自認または性表現、性的指向、年齢、障がい、その他の項目を理由とする差別は行いません。

## 2. 一人ひとりの役割・職務と成果に対する公正な評価・処遇をとおして、困難に果敢にチャレンジする人財を育成します。

- 私たちは、変化に迅速に対応しうる組織と多様な雇用システムをつくり、それぞれの役割と職務に求められる要件を明確にし、適時・適材・適所による人財確保と配置を実現します。
- 展開する事業に関わる人財の育成と登用を積極的に図り、また、各地の現地社会からの人財登用を積極的に推進し、各地で働く人々の動機づけを促進します。
- 個々の社員の適性と意欲・努力に焦点を当てた多様な育成支援策を提供し、自らの成長、やりがいを実感できる仕組みと風土をつくります。
- 一人ひとりの役割・職務と責任を明確にするとともに、能力と実績を公正に評価して、会社業績と市場価値に見合った処遇を推進します。
- 自己の役割・職務を誠実に遂行し、求められる役割と責任を果たします。会社の方針や就業規程を含む各種諸規程、業務上の指示・命令を正しく理解し、遵守します。
- 労働に関連する法律等を遵守し、社員と会社間で、会社の経営状況、経営課題などについて情報を共有し、誠実な双方向コミュニケーションにより信頼感の醸成と、協調的な関係を構築します。



## 3. 健康と安全に配慮した働きやすい職場を整備します。

- 私たちは、誰もが安心して働けるよう、業務上の安全・衛生の確保を優先します。また、社員の健康こそが業務の安全、衛生の根幹であり、企業の成長の基盤であるという「健康経営」という考えのもと、日ごろから心身の健康の増進に努めます。さらに、業務上や第三者の安全に影響を及ぼすような薬物やアルコール等の摂取は行いません。
- 過重労働の撲滅に努めるとともに、それによる健康障害対策、メンタルヘルス対策など、快適な職場環境づくりに努めます。万が一、業務上災害が発生した場合は、人命の尊重を第一に、所定の行動を確実に実行します。
- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の意識や風土づくりに努め、これら両立に関する制度の整備と普及にも取り組みます。



# 06

企業情報を積極的、効果的、  
かつ公正に開示し、  
ステークホルダーとの建設的な対話を行い、  
企業価値の向上を図る



## 1. 社会的に有用な情報の開示に努め透明性向上を図り、広くステークホルダーへの説明責任を果たすことにより、支持や信頼の獲得に努めます。

- 私たちは、財務情報および経営理念・方針、技術・商品、社会貢献活動等の非財務情報を正しく社会に周知します。また、消費者・顧客、社員、取引先、地域社会、株主、投資家などのステークホルダーと積極的な広報活動や対話を通じて公正な関係を築き、長期的な支持と信頼を得るように努めます。
- ステークホルダーから得られる社会の率直な声を積極的に聴取し、それらを経営に反映します。
- 長期的視点に立って経営課題・事業リスクを認識し、適切にコントロールすることによってEVA®<sup>\*</sup>や業績を継続的に伸ばさせ、企業価値の向上に努めます。株主への利益還元については、長期的な観点から、適正な水準を維持するよう努めます。



※「EVA®」とは、米国コンサルティング会社のスターン・スチュワート社の登録商標です。

## 2. 適正な情報の開示のため会計処理等については、内部承認手続きを経て厳正に行い、会計記録などの業務上の記録を正確に行います。

- 私たちは、適正な会計処理基準および関連する法律等に則り、経理・財務等の会計記録の正確性を確保し、会計記録を含むすべての業務上の記録、データ、報告なども事実を正しく記載します。
- 会計処理、資産管理等をはじめとする社内申請・承認・記録を適切な内部統制がはたらく手続きを経て厳正に行います。内部統制手続きは適宜その妥当性と実効性を検討し、必要な場合には、適正な手続きを経て改善します。
- 監査役監査、会計士監査、税務調査、監督官庁による査察等調査、内部監査その他の業務監査・調査には誠実に対応し、正しい財務諸表の作成や監査・調査業務に協力します。
- 与えられた権限は誠実に行使するとともに、自らの権限を越えて独断専行せず、定められた報告を遅滞なく行います。



## 3. インサイダー取引を行いません。

- 私たちは、情報開示及びインサイダー取引防止に関する規程を遵守します。会社や取引先等の内部機密情報の取扱いに十分に注意しこれらの情報を利用した株式等の売買は違法なインサイダー取引であることを十分に理解し、行いません。

# 07

## 社会貢献活動をとおして 豊かな社会の実現に貢献する





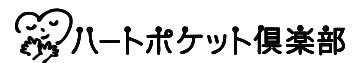
## 1. 社会のよき一員として貢献し、支持と信頼を得るために、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマとした活動を行います。

- 私たちは、社会的課題の解決につながる活動や、地域社会の発展に貢献する活動を行います。



## 2. 社会性、公共性、有用性を考慮し、適切な寄付・支援を行います。

- 私たちは、地域社会への貢献を目的として、その有効性や優先度を鑑みて金銭寄付や商品の寄贈を行います。運用については、必要な内部承認手続きを定めた花王グループ寄付ガイドラインに従います。



## 3. 幅広いステークホルダーとの連携・協働を行うことにより社会貢献活動を強化し、社会の発展に寄与します。



## 4. 個人の意志と責任に基づくボランティア精神を尊重します。

- 私たちは、一人ひとりの社員が、よき市民として積極的に社会に関わり、ボランティア活動を行うことを尊重し、応援します。



# 08

自然災害、サイバー攻撃、テロ、  
反社会的勢力等のリスクに備え、  
組織的な危機管理を徹底する



## 1. 組織的なリスク・危機管理を徹底するための体制を整備します。

- 私たちは、事業活動全般にわたって生じ得るさまざまなリスクを低減し、発生時には定められたリスク及び危機管理に関する方針や業務処理手順に従った適切な行動をとります。
- 会社の資産価値を著しく減じたり、負債を著しく増大させるリスクのあるデリバティブ取引や商品先物取引など、投機的取引を行いません。



## 2. 反社会的勢力に対しては毅然とした態度で臨み、反社会的行為を許容しません。

- 私たちは、反社会的団体等と関係を持たないように内部管理の徹底を図ります。
- 業務に関係するか否かを問わず、違法行為や反社会的行為に関与しません。特に、不正な資金洗浄(マネーロンダリング)や反社会的団体等への利益供与などに関わりません。

## 3. サイバー攻撃などのテロの脅威に対する危機管理と対策に取り組みます。

- 私たちは、テロのリスクを理解した上で、情報収集や安全対策を行います。
- サイバーセキュリティが重大なリスクであると認識し、適切な管理体制の構築や対策に取り組みます。



## 4. 個人情報・機密情報や知的財産について、関連する法律等やガイドラインに基づいて、その取扱いに関する方針を定め、その管理を徹底し、保護を図ります。

- 私たちは、会社の機密情報については、漏洩しないように管理を徹底します。特に公共の場所での会話、通話、通信やソーシャルメディアで不用意に話題にしたり、第三者の目に触れないよう心がけます。
- 他者の機密情報を入手する場合、正当な権利者や合法的な情報源から正当な方法によって入手するとともに、入手の記録を正確に、かつ詳細に残します。また、入手した他者の機密情報は、契約やその利用条件に定められた範囲において使用し、機密保持に努めます。
- 個人情報を厳重に管理し、法令で認められる場合を除き、事前承諾なく他に開示したり、本人に知らせていない目的に使用しません。
- 個人情報・機密情報について、関連する法律等や機密情報取扱いガイドラインおよび個人情報取扱いガイドラインに基づいて、その取扱いに関する方針を定め、その管理を徹底します。
- これらの機密情報・個人情報等の守秘等については在職中だけでなく退職後も継続して実施します。
- 私たちは、業務上の成果を、会社の知的財産として適切に管理します。また、他者の権利を侵害しないように事前に十分な確認を行います。

# 09

経営者・管理者は  
花王 ビジネス コンダクト ガイドラインを  
自ら遵守し社員の模範となるとともに、  
メンバーへの周知徹底の責務を全うする



1. 花王 ビジネス コンダクト ガイドラインについて、  
周知徹底を図るために社員と誠実に対話、協議し、  
また取引先に対しても理解と賛同を得るとともに、それに基づく行動を促します。



2. 花王 ビジネス コンダクト ガイドラインに反し  
社会からの信頼を失うような事態が発生もしくはそのおそれを認識した時には、  
経営トップが率先して問題解決・原因究明・再発防止等に努め、  
その責任を果たします。
3. 独立性を担保したコンプライアンス通報・相談窓口を整備し、  
社員等への活用を促すことで、企業行動の改善につなげます。

## 花王が支持を表明している憲章・指針等

---

花王は下記の世界적인憲章や指針を支持し、実践することを表明しています。

### ■国連グローバル・コンパクトの10原則

(2005年5月署名)

国連が提唱する、各企業に対して、それぞれの影響力の及ぶ範囲内で、人権、労働、環境、腐敗防止の4つの分野にわたる「10の普遍的原則」。

<https://www.ungcjin.org/gcnj/principles.html>

### ■レスポンシブル・ケア世界憲章

(2008年8月初版署名、2014年9月改定版署名)

レスポンシブル・ケア活動を世界的に強化するために各企業に求める指針。

<https://www.icca-chem.org/>

### ■女性のエンパワーメントのための指針～共同参画がビジネス向上の鍵～

(2010年8月署名)

ビジネス・リーダーが相互協力によって、職場、市場、地域社会で女性のエンパワーメントを促進するために、国連グローバル・コンパクトとUN Womenがともに策定した指針。

<https://www.ungcjin.org/>

<https://www.unwomen.org/en>

# 参照社内規程等

このガイドラインに関連する社内規程等は次のとおりです。

ページ数	BCG項目	社内規程等	所管部門
P2		花王ウェイ（企業理念） <a href="http://www.kao.com/jp/corporate/about/purpose/kaoway/">www.kao.com/jp/corporate/about/purpose/kaoway/</a>	
P10	01-4	花王のロゴマーク・社名表示(Kaoブランドデザインブック)	コーポレート戦略部門
P23	07-2	花王グループ寄付ガイドライン	
P9	01-1	品質保証活動の基本方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/safety-quality-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/safety-quality-policy.pdf</a>	品質保証部門
P12	02-1	責任ある化学物質管理推進の基本方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/saicm-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/saicm-policy.pdf</a>	品質保証部門 ESG部門
		環境・安全の基本理念と基本方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/environment-safety-principle-policies.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/environment-safety-principle-policies.pdf</a>	ESG部門
		生物多様性の基本方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/biodiversity-basic-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/biodiversity-basic-policy.pdf</a>	コーポレート戦略部門 (危機管理・RC推進部)
P12	02-1	花王レスポンシブル・ケア方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/responsible-care-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/responsible-care-policy.pdf</a>	
		調達基本方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-policy.pdf</a>	
		お取引先とのESG推進活動 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-esg-promotion-activities.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-esg-promotion-activities.pdf</a>	
P14	03-2	ハイリスクサプライチェーンからの調達 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-supply-chain-management.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-supply-chain-management.pdf</a>	購買部門
		間接材購入ガイドライン	
		03-3	お取引先に求めるパートナーシップ要件 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-partnership-requirements.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-partnership-requirements.pdf</a>
P6	基本精神	通報・相談規程	
P15	03-4	花王贈収賄防止ガイドライン	
		接待・贈答・慶弔に関するガイドライン	
		03-4,03-6	会合費の使用に関するガイドライン
	03-5	花王利害の対立の回避に関するガイドライン	
P17	04-1	花王人権方針 <a href="http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/kao-humanrights-policy.pdf">www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/kao-humanrights-policy.pdf</a>	ESG部門
P17	04-2	職場におけるハラスメント防止のために（セクハラ、マタハラ・パワハラ）	人財戦略部門
P19	05-2	就業規程	
P19	05-1	ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(DE&I)方針 <a href="https://www.kao.com/jp/sustainability/walking-the-right-path/inclusive-diverse/dei/policy/">https://www.kao.com/jp/sustainability/walking-the-right-path/inclusive-diverse/dei/policy/</a>	人権・DE&Iステアリングコミッティ
P21	06-3	情報開示指針 <a href="http://www.kao.com/jp/corporate/investor-relations/disclosure/">www.kao.com/jp/corporate/investor-relations/disclosure/</a>	情報開示委員会
		花王情報開示及びインサイダー取引防止に関する規程	
P25	08-1,08-3	花王リスク及び危機管理に関する基本方針	リスク危機管理委員会
P25	08-4	情報セキュリティポリシー	情報セキュリティ委員会
		花王機密情報取扱いガイドライン	
		TSMニュアル	
		花王個人情報取扱いガイドライン	
		ソーシャルメディアポリシー <a href="http://www.kao.com/jp/corporate/social-media-policy/">www.kao.com/jp/corporate/social-media-policy/</a>	MKイノベーションセンター メディア企画開発部
		花王グループソーシャルメディア利用方針	コンプライアンス委員会
		花王グループソーシャルメディア利用方針 運用上の注意点	
ITセキュリティガイドライン	情報システム部門		
		情報機器利用の手引き	

KaO

きれいをこころに未来に

制定および改定履歴：2003年4月  
2005年6月  
2008年6月  
2011年4月  
2012年7月  
2013年7月  
2016年4月  
2019年4月